



三浦半島支部だより

平成21年8月1日発行

第8号

発行者： 社団法人宮陵会（ 神奈川大学校友会 ）三浦半島支部 企画・広報委員会

事務局： 鎌倉市津西1-31-15 TEL0467-32-4957

平成21年度支部通常総会を開催

～収支予算（案）修正後全議案を可決承認～

秋田琢次宮陵会本部副会長を来賓に迎えた平成21年度三浦半島支部総会が6月20日（土）午後1時30分から、京浜急行横須賀中央駅前のセントラルホテルで開かれ40名が出席した。

古川勝彦支部長（昭和40年経済）は「日頃のご協力に感謝するとともに、引き続き会員の増強にご協力いただきたい」と挨拶。続いて総会規程により議長に砂川正夫副支部長（昭和44年経済）を選び議事に入った。

第1号議案の平成20年度活動報告、第2号議案の収支決算報告、第3号議案の平成21年度事業計画（案）、第4号議案収支予算（案）について鈴木稔事務局長（昭和44年経済）が議案書に沿って順次説明を行った。その後、議長が質疑応答の案内を行ったところ、原柳作三浦地区幹事（昭和46年英文）から次のような緊急動議が提案された。「支部事務局長は、議案書の作成や印刷、会報の編集作業、会員や大学との連絡など縁の下の力持ち的存在で、会の発展のために汗を流してきました。事務局長職は会の発展に欠かせません。今後の事務局長職を引き受けていただく会員のためにも月額3,000円（年間36,000円）の事務局長手当てを制度化して欲しい」議長はこの緊急動議を受け会員に諮ったところ「異議なし」の声も出て、全員の拍手で動議を可決した。その後の質疑応答もないことから第1号議案から第4号議案まで採決を行い全員の拍手で可決、午後2時に総会は終了した。

テフコ青森（株）中山廣男社長

（昭和36年貿易卒）が講演

第Ⅱ部の講演会は、平成18年に電着バラ文字の研究開発で黄綬褒章を受賞され、1年のうち3分の1を横須賀市内に住むというテフコ青森株式会社代表取締役社長の中山廣男氏（70歳）が「私の夢と生涯現役」と題して行った。



49歳でベンチャー企業を興した中山社長

講演内容に触れる前に、同氏と会社のプロフィールについて若干ご紹介します。同氏は昭和14年青森県黒石市生まれ。東奥義塾高校、神大貿易学科卒業後、伊藤忠商事（株）に入社。（株）旺電舎を経て、昭和63年ふるさとの弘前市にテフコ青森（株）を設立。同社のホームページによれば事業内容は、腕時計文字盤用電着時字、電化、通信、自動車内装用電着バラ文字社マーク、ロゴマークの製造販売。従業員は80人。

また中小企業庁の「元気なモノ作り中小企業300社」のホームページでは同社を次のように紹介している。①アナログ腕時計の製造に産業革命を起こす。⇒時計の文字盤は200年間、植字で1字ずつ文字盤に植えつけられた。テフコ青森は熟練工でも10分かかる作業を独自に開発した電着画像技術「貼り時字」で15秒まで短縮。省力化、低コストを実現し、デザインの多様化も可能になった。②苦難の連続に負けず続けた独自製法の技術が世界市場を制覇、新たな製品で市場を拡大。⇒開発当初は不良品の連続で会社の存続さえ危ぶまれた。そんな時でも中山社長は独自製法の研究を続け、開発した電着画像技術は国内および輸出先で特許を取得した。高級腕時計の価格帯の約20%がテフコ製の文字盤といわれ、外国製の高級ブランドにも採用されている。最近では電気分解形法を用いて、プレス加工では絶対不可能な最薄30ミクロンの

板厚を製造可能とするフィルム銘板「テフコミラー」を開発し、さらに事業を拡大している。

全員でテフコ青森の概要を紹介したビデオ（著名な経済ジャーナリスト財部誠一さんが解説したテレビ番組）を見せていただいた後で、中山社長の講演が行われた。

なお中山社長のレジメから感動した部分を引用すると「夢は、人々が驚き、感動するような美しい華飾部品を創造すること」。①発明や開発、改良は常に常識の裏に潜んでいる。②不良の山に宝が眠っている。③満了した時に、その技術はストップする。④難産で生まれた製品ほど光輝くという言葉でした。



支部総会終了後に全員で記念撮影

第Ⅲ部懇親会にエベレスト登頂に成功した宮守健太さんが登場

第Ⅲ部の懇親会は隣の「ルビーの間」に席を移し、鈴木和夫横須賀地区幹事（昭和46年法律）の司会で始められた。湘南信用金庫石渡卓理事長（昭和51年貿易）に乾杯の音頭をとっていただいた後で、本年5月に神奈川大学山岳部登山隊の一員としてチョモランマ（エベレスト8848M）登頂を果たした横須賀市在住の宮守健太



宮守健太氏

隊員（平成18年生物）が、その体験談を語ってくれました。登攀隊長は凍傷のために指の切断を余儀なくさしてしまったこととか、下山途中で意識不明になり気づいた時はテントの中だったなど、命がけの登攀について貴重な経験を語ってくれました。氏の話が始まると、それまでざわついていた会場も静まりかえり、若くてたくましい氏の話に聞き惚れました。残すは南

極大陸にある最高峰ピンソン・マシフでここを極めれば、世界七大陸の最高峰を全て制覇します。皆で応援しましょう。

小池邦夫副支部長（昭和38年機械）の中締め挨拶と司会者鈴木和夫氏のエールにより全員で校歌を合唱、平成21年度支部総会は閉会となりました。

（三浦地区幹事 原 柳作）

テフコ青森（株）中山廣男社長講演要旨

ものづくりにおける特許は、製法特許、商標登録特許、実用新案特許があります。特許をとっておかないと、中国や韓国がすぐ日本の真似をします。日本が世界で生き抜くためには、特許しかありません。現在8カ国31の特許を持っています。

5年前にベンツ社が工場を見たいといって我が社にやって来ました。同社は世界の2万社から商品を仕入れています。ベンツ社は、特許を持っている我が社でないと、欲しい商品が手に入らないのでわざわざ当社に来られたわけです。このように特許の効果は、EUや米国には通用しますが東南アジアなど特許に関心の薄い国には通用しません。特許は企業にとって武器であります。

また、このところ「この不況をどう乗り越えたいか」と問われます。世の中は、必ず大波や小波がやってきます。「好況時はいい。不況時はなおい」とはパナソニックの創業者・松下幸之助さんの言ったことですが、その意味するところは「不況の時は知恵を出せ」ということです。

ものづくりというのは、改良や改善が一生続きます。この蓄積が生きてきます。（失敗の）蓄積があってこそ次（成功）への転換が出来るのです。私は社内では「汗を流しながら、コツコツ働く（そうすれば必ず報われる）」ことが大切だと、常々言っています。（完）

三浦半島支部ホームページ完成

<http://miurahanto.blog.shinobi.jp>

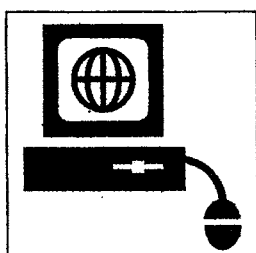
お待たせしました。念願であった、(社)宮陵会三浦半島支部のホームページが、この度完成しましたのでご覧ください。

とかく、私たち団塊の世代から後期高齢者の世代と

もなりますと、パソコンとかインターネットと聞きますと、怖気づいてしまいますが、仕組みさえわかれば、そんなに難しいことはありません。パソコンもだいぶ安くなり、使いやすくなってきていますので挑戦してみてください

お持ちのパソコンから、三浦半島支部のホームページをご覧になるには、インターネットの画面を開いて、上記のアドレス「<http://miurahanto.blog.shinobi.jp>」を入力してください。面倒な方は「三浦半島支部」と入力し、検索を押し、該当する本ホームページを選択することでも閲覧することができます。その後は「お気に入り追加」で保存しておきますと、次回以降はそこから簡単にご覧になることができます。

それでは、本ホームページの構成(メニュー)について、ご案内します。①「トップ・掲示板」は総会や同好会等の各種開催行事のお知らせの頁。②「我が街」は支部会員の皆様から寄せられた、三浦半島(横須賀・三浦・鎌倉・逗子・葉山)地域の写真やイラストを掲載する頁。③「我らの仲間」は支部長挨拶、支部役員紹介、支部会員(投稿されたエピソード等)を紹介する頁。④「ご報告」は支部開催行事を時系列に掲載する頁で、主要行事についてはカーソルをクリックすると内容詳細を見ることができます。⑤「会則」は支部会則、年会費の振込みの頁。⑥「ご連絡メール」は本事務局宛にご連絡をする際にご利用ください。会員の申込みもここでできます。次にリンク(他のホームページとの接続)についてですが、クリックすると神



奈川大学と宮陵会本部へ接続することができます。

余談ですが、その他(管理画面等)はホームページの管理者のための画面ですので、一般には利用できませんのでご注意ください。

今回ホームページ作成にあたり、苦労話などあったら書いてくださいと、事務局長の鈴木さんから原稿の依頼がありました。皆さんと同様に私も、それなりに忙しい身体です。しかし、この会報もそうだと思いますが、創ること自体より一番苦労する問題は、原稿(情報)を集めることです。

今回は会報等により、今まで蓄積されてきた情報を編集し、掲載させていただきましたので、その面での苦労はありませんでしたが、今後、本ホームページを継続的に運用していく上では、情報収集は欠かせません。内容が更新されない、このような類のホームページが沢山ありますが、本ホームページは、会員以外でも見ていただけるような、魅力あるものにしていくではありませんか。

今後、支部会員の皆様からは、四季折々の地域の写真やイラスト(電子データがない場合はスキャナーで読み込みますので紙データでも可能です)、支部会員のエピソード等、是非お寄せください。会報と切り分けながら紹介していきたいと思っております。ご協力をお願いします。

終わりに、本ホームページの立ち上げに際しまして、写真等の提供をしていただきました、砂川副支部長、鈴木事務局長に御礼申し上げます。

(横須賀・三浦地区幹事長 塩塚 定雄)



観音崎公園(ホームページ・我が街より 砂川氏提供)

支部同好会通信

三浦半島支部テニス同好会誕生

～会員募集中。毎月定例会を開催～

去る4月20日(月)、初夏を思わせる好天に恵まれ、JR茅ヶ崎駅前に同好者一同が集合。相模線に乗り換え11時頃、目的地の香川駅に到着。一同は小池邦夫さんの案内で、かの有名な「湘南ローンテニスクラブ」のコートに向かった。一同とは、このクラブの会員である小池さんと支部長の古川氏、砂川氏、塩塚氏、角谷の5名。広くて見晴らしの良いコートの一隅で我々は、思いっきり身体を動かし、夕方4時頃までテニスを思う存分楽しみました。



湘南ローンテニスクラブに集まったメンバー

日頃の運動不足か、歳のせいか、試合中に足腰が痛み出し悲鳴を上げる者もいましたが、皆、普段身体を動かしているとみえ、少人数にもかかわらず夕方近くまで、かなりの試合数をこなすことが出来ました。

塩塚氏が持参した学生時代使用したラケットが竹製の硬式ラケット(現在は殆どスチール製)。その珍しさに皆びっくりしました。周囲のコートでプレー中のクラブ会員にはレベルの高い人が多く見受けられましたが、何時かは対戦したいと思いました。

帰途は駅の近くの地酒を扱っている居酒屋で、思いっきり飲んだことは言うまでもありません。翌月の5月18日(月)も同じテニスコートで実施しました。

本テニス同好会は、現在活動中のゴルフ同好会と同様、

次回から正式な同好会として発足させ、会員相互の親睦を深める場として一同考えております。老若男女、一人でも多くの会員の参加を希望いたします。

入会希望者は、下記にご連絡をお願いいたします。

(テニス同好会会員 角谷 彰)

連絡先 小池氏 〒240-0112 葉山町堀内10
自宅 046-875-5079

メール kichiemu@mbj.nifty.com

第2回歩こう会「観音崎ハイキング」

～3月15日に実施し11名が参加～

昨日の春二番の嵐と打って変わって最高の天気、観音崎は海辺とあって日頃風が強いが本日は微風。馬堀海岸駅に9時50分集合し、3月20日開通の横浜横須賀道路馬堀IC近くの公園で歩こう会オープニング。今回参加は、古川支部長、鈴木、砂川幹事含め11名、内藤副支部長の奥様も紅一点で参加して頂いた。

馬堀海岸“海と緑のプロムナード”のさわやかな潮風をあび、そして浦賀水道を行き交う船を眺めながら一路走水水源地へ。横須賀水道の発祥の地でレンガ造貯水池、国有文化財に指定され、湧水を汲みに来る人が後をたたない。我々もそれにあやかり一息入れ出発。途中道路際の一際高い漁港を見下ろす場所で遠くに浮かぶ富士山を眺め記念撮影。

景色に見とれ横須賀美術館に少し遅れて11時過ぎ到着、今回公園内を案内して頂く観音崎公園ボランティアグループ、フィールドレンジャーの三堀さん合流、ご自身特製の案内小冊子を配布され、園内見どころのポイント、注意事項の説明を受ける。

観音崎公園は神奈川県の中では面積最大の70万㎡でじっくり散策すると一日かかる。文化9年(1812)に船見場所、台場が設置され江戸湾警備の場となった。その後東京湾防備の要塞地帯となり、各所にレンガ作りの砲台が築造された。

園内に入ってまず三軒家園地の砲台を見学。砲台側壁に開けられている測距器の連絡通報管の説明を受け、続

く花の広場へ、照葉樹林の生い茂った園路を通り戦没船員記念碑へと向かう。戦時中民間人の海難事故で亡くなった方々を奉られてある記念碑で天皇陛下をはじめ皇室の方々、総理大臣ほか、毎年5月の記念式典に参列される。記念碑より短めの尾根を下り、たたら浜園地へと、海岸へ出て以前“ゴジラ”の滑り台が設置されていた。今は足跡のみを横目に見ながら、昼食場所の観音崎公園ビジターセンターに到着。昼は軽くビールとワンカップを頂き午後の体力を調整する。

昼食後、ビジターセンター前の水の広場“雪吊り”背景に全員で記念撮影。展望園地より観音崎灯台（灯台のみ観音崎は“崎”と書く、海軍呼称）へ、国内で初めての洋式灯台。灯台を後にして横浜市電の敷石使用の海岸園路を通過し公園案内最終地点へと。三堀さんのきめ細かい、そしてユーモラスな解説で皆、笑い感動の中で終了し、感謝の意を表し別れとなった。



観音崎ビジターセンター前で記念撮影

そこで我々も自由解散となり、家路につく人、美術館を見学する人、そして内藤さんのご配慮して頂いた観音崎ホテル、スパッソの割引券で入浴する人、それぞれ散会した。中にはその後4軒ハシゴした人がいると聞いた。

晴れた日の楽しい一日であった。次回また皆様方と健康な体力作り（飲むのは控えめに）歩こう会を企画いたしましょう。

（歩こう会世話人 砂川 正夫）

第8回ゴルフコンペ初参加で夢の優勝

横浜市港南区 有川 貢司

私は、65歳を最後に仕事から全く解放され、毎年80回から100回程度のゴルフを楽しんでいる現在72歳のゴルフ好き人間です。

私のゴルフ名言の一つに「上手いゴルプレーヤーは先を考え、下手なプレーヤーは後で考える」というのがあり、何か私の人生を生きていく上にも同じことが言えるようで、常々参考にしている言葉の一つです。

さて、本年3月13日好天に恵まれて葉山国際カンツリー倶楽部で、第8回ゴルフコンペが15人の同好者により開催され、同期の御園君に誘われ初参加しました。



優勝した有川氏（写真左端）

アウト55、イン49と、私の葉山国際でのワースト記録となったのですが、表彰式で「優勝有川さん」と呼ばれた時は一瞬何が起きたのか解らず、その場で起立するのが遅れたぐらいでした。しかし、配られた成績表を見て納得しました。なんとハンディが29.6も付いていたのです。新ペリア方式の効果が見事発揮された好事例でした。

皆さんも新ペリア方式ですので優勝のチャンスがあります。是非参加してみてください。

最後にゴルフクラブの世話をしてくださった中川さんを始め、多くの方々に御礼を申し上げます。次回は7月葉山国際で、11月は千葉の「鹿野山」が予定されているようです。皆様方多数参加し、この会を盛り上げましょう。

（昭和39年第二法経学部法学科卒業）

速報 第9回オープンコンペの結果

第9回オープンコンペが、7月31日(金)葉山国際カントリー倶楽部・ダイヤモンドコースで開催されました。今回は過去最多の6組、21名の参加で初参加は4名。競技は新ペリア方式で行われ、次の方々が表彰されました。表彰式の席上、第10回記念コンペは、11月26日(木)千葉県君津市の「鹿野山カントリークラブ」白鳥コースで開催したいとの提案が、世話人中川六郎氏からあり了承されました。また初代ゴルフ会代表(呼称キャプテン)に塚田尚氏(昭和38年機械)が推挙され、出席者全員の賛成により引き受けて頂くこととなりました。第10回オープンコンペの詳細につきましては、会報に同封しました。参加希望者は世話人中川氏までご連絡をお願いいたします。(申込締切は10月30日)

〔 第9回オープンコンペの結果 〕

- ☆ 優勝 塚田 尚 グロス91 ネット70.6
- ☆ 準優勝 鈴木 和夫 グロス92 ネット74.0
- ☆ 三位 御園 政明 グロス91 ネット74.2
- ☆ ドラコン 宮野 弘和 有川 貢司
- ☆ ニアピン 塚田 尚 吉村 芳雄



第9回オープンコンペ参加のメンバー

連絡先 中川氏 〒240-0111 葉山町一色1087
 携帯 090-9003-2499
 自宅 046-875-4360
 メール nakaroku@jcom.home.ne.jp

会員からの短信



会員の皆様からの原稿を募集しております。学生時代の思い出、趣味、旅行記、仕事のこと等テーマは自由です。字数は1,600字程度。写真を添付し下記までお送り下さい。

(送付先)

〒239-0835

横須賀市佐原3-21-33 鈴木 稔

メール ne2tf6@bma.biglobe.ne.jp

携 帯 090-9950-6054

学生時代の思い出と現在

村田 龍也



私は、太平洋戦争の直前、福岡県直方市(大相撲大関魁皇の出身地)で生まれ、地元の鞍手高校を卒業。昭和35年3月、神奈川大学入学の為、地元を後にして上京、早いもので49年が経ってしまいました。

神大入学のきっかけは、振り返って考えてみれば、親元を離れ、都会で一人で生活ができる自由を求めたことと、都会への憧れが非常に強かったことである。横浜では、高校の先輩の下宿に仮住まい(神奈川区白幡西町)偶然にも、その下宿先に現宮陵会副会長の新井先輩が同居されていました。

過日、宮陵会の役員会の席上で先輩と再会、懐かしい昔話しに花を咲かせました。卒業までの間、下宿先を二ヶ所変わり(同じ白幡西町)学生生活を過ごしました。下宿先では、神大生の他、横浜市大、中央大学の人達を含め、多くの友人を得る事ができました事は、私の人生生活の上で大変貴重な財産になっています。現在でも何人かの方とはお付き合いをしています。又白幡西町は様変わりをしていますが、思い出深いところです。

学生時代は、親からの仕送りは、ソコソコ有りましたが、人付き合いが良いので、交際費の支出が多く（麻雀、飲み会等）その費用捻出の為、学生の本分である勉強は余りせず、アルバイトの毎日でした。特に現在は閉店しましたが、伊勢佐木町のデパート松屋では、4年間、春、夏、冬とアルバイトに精を出し、三、四年次では、学生アルバイトの人達のまとめ役の任を拝命された事も有りました。このアルバイトの経験が実社会に出て大変役にたちました。

様々な人間関係の経験、上司と部下の関係、部署、課内の人の関係、又一線に立ってのお客さんとの折衝の有り方等は、社会に出て実践として本当に参考になりました。又家内とも松屋で知り合い、一生の伴侶として、早四十四年が過ぎ、振り返れば私にとって、大変良いアルバイトだったと思っていますし、神大に入学、卒業した事を大変嬉しく、又感謝しています。

現在は、潤滑油のグリース製造販売会社の（株）日本礦油に勤務。鉄鋼、自動車産業を始め、電機、情報、精密機械にいたる全てのグリースを手掛けている会社で、最後のご奉公をしています。神大に対しましても何らかの恩返しと思ひまして、法人、宮陵会、フロンティアクラブに末端ながら役員に名を連ね、各運営に微力ながらお手伝いをさせていただいております。

又三浦半島支部発展のため、尽力したいと思っています。第二の人生を歩くにあたり、近隣の同窓の方々と輪を広げ、親密なお付き合いの中、残り人生を過ごす事が出来ると思うだけでワクワクします。これからも会員の皆さんよろしくお願い致します。

（昭和39年法経学部経済学科卒業）

用心棒・予感・なぜか「SMAP」

金野 義勝



● 学生時代用心棒

昭和45年経済学部卒・当時は学生運動が騒がしい時代だったがそれでも勉強への意欲は少々あった。部活は名ばかりの体育系で空手部だったが練習はろくにしなかった。当時は高度成長期時代だった

たのでアルバイトの口はいくらでもあった。特に思い出に残るバイトとして、とても頭のいい中学生の家庭教師をした経験があった。しかし中学生から逆に教えられたことがあった。彼はいま医師になっている。これらの反省をふまえれば、頭を使うようなアルバイトが苦手になった。小心者で貧乏学生が、横浜伊勢佐木町のキャバレーで用心棒のバイトをしたが、一度もトラブルにも巻き込まれなかった。そのバイト料は私の経験では一番高かったように記憶している。

単位スレスレで卒業したため、おかげで社会人のこの年になっても勉強しなければならなくなり、大学時代のツケをいまだに背負っている。大学時代何をしてきたのかと今さら疑問に思ったりする。あの頃は本当に若かった。なんでもできた時代。若かったことが取り得の大学生活だった。

● 宮陵会面白い予感

宮陵会三浦半島支部の会員入会者が少ない。年に色々な行事があるようだが、毎年新年に横須賀市内のホテルで懇親会が行われるのを楽しみにしている。仕事を離れ人生を楽しんでいる先輩、現役で仕事をバリバリしている後輩、考えてみれば楽しい。それほど親しい友達でもないのに、たかが神大に4年間籍を置いただけなのに、なぜか親近感がある。

考えてみれば不思議な感覚だが面白い。宮陵会の方達を見ていると無限の可能性をもった人達に合えそうな気がする。仕事にも、人生にも生きるためのヒントを宮陵会のメンバーから得られるように期待している。難しいことは別にして、何かが期待されるそんな予感がする。

そんな意味でも宮陵会を面白くしたいものですね。よろしくお願ひします。

● 「なぜSMAPなのか」

スマップ「SMAP」をはじめとしてジャニーズ系のコンサート・ペンライトを造っている会社を経営している。若い方達からは「凄い会社を経営している」と言われる。年配の方達には「ピーン」とこないかも知れない。このような会社の本社が横須賀市内にあるとはあまり知られていない。かくれた珍しい会社を経営していると言われる。

「なぜスマップなのか・どうしてジャニーズに進出できたのか？」それは、会社が新製品開発で産学協同開発を進めたことや、光る特殊インクの特許を取得したことが大きい。もちろん特殊な、一種独特な営業活動や品質管理を取り入れているためだろう。多くのことは言えないが、確かに他社に無い人事制度を取り入れている。詳細は企業秘密です。

この原稿を書いている7月末は札幌で「カンジャニ・エイト」のコンサート中で忙しい時期に入ります。現役の神大学生の皆さんも就職活動が大変かも知れない。大企業だけ狙っては駄目だ。将来、起業家を狙うのも一つの方法と私からアドバイスしたい。人生は諦めなければ、必ず開けると信じて頑張る欲しいものだ。

(昭和45年第二経済学部経済学科卒業)

愛する横須賀

嶋田 晃



私は、昭和43年4月に神奈川大学に入学をしました。1年ほど経ったころ大学紛争が活発になり、校門入口には講堂の机が高く積み、バリケードが築かれ、正面の本部棟の屋上には「中核」のヘルメットをかぶりタオルでマスクをしている学生が建物を占拠しており、その日の講義は登校しないと、講義が行われるかどうか分からないという毎日でした。そんな休講日は、仲間とダイヤモンド地下街にある喫茶店に集まり、雑談に花を咲かせておりました。今思い出すと、これも大事な学外講義であり、青春時代のよき思い出であったと思っています。私事ですが、妻（短大卒）との出会いも神大で今日まで続いております。

まず近況報告をさせていただきます。私は、先輩議員の勧めで、平成3年の横須賀市議会議員選挙に立候補し初当選することができ、市議会議員として18年間活動させていただいております。私達の郷土であります横須賀市は、三方を海に囲まれ、温暖な気候、豊かな自然環境を有する三浦半島の中核都市として、先人の皆様が不断の努力を重ね、創り上げられ発展してまいりました。平成19年2月15日には市制100周年を迎え、横須賀の新世纪に向けたまちづくりが進められております。

市議会においても、地方分権により市の役割が拡大していることや、民意の多様化に伴い、行政に対する監視機能の充実のほか、政策立案機能の強化が求められており、市民の代表である議会の果すべき役割は、ますます重要となっております。

こうしたことから、市民の皆様が開かれた議会を目指しこれからの議会のあり方について、第3次議会制度検討委員会や議会基本条例検討委員会等を開催し、精力的に議論を致しております。

また、本会議や委員会は、市民の皆様にご意見を身近に感じていただくために、会議の公開や、本県で初めて委員会のインターネット中継も行っております。さらに「市議会ホームページ」でも本会議の生中継や録画放映も行っております。平成19年度からは、本会議場に手話通訳を配置し、障害者にもやさしい議会を目指しております。

さて、私の議員活動のなかでライフワークとして取り組んでいる問題が2項目あります。そのひとつは環境問題であります。近年世界的にも進んでいる地球温暖化の問題について関心が高まっております。季節はずれの花が咲いたり、海面の上昇、ゲリラ豪雨など、日本各地で気候変動と連動するような兆候が数多く報告されております。地球温暖化を食い止める対策が叫ばれない日はないといわれております。本市においても地球温暖化防止対策として、環境性能の高いエコカーの導入や、太陽光発電の導入に対する補助制度の拡充等、低炭素社会の推進による地球温暖化の抑止について、横須賀市地球温暖化対策実行計画を策定して取り組んでおります。温暖化対策は大きな課題ではありますが、私たちが日常生活の中で、何ができるか考え、行動を起こしていけば、次の世代にきれいな横須賀を残すことができると思います。

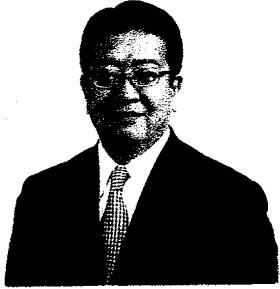
2項目は、障害者への支援であります。私が議員になって2年目のときに、障害者をお持ちのご家族から受けた相談は、北部地域に障害者作業所が1ヶ所もないということでした。設置には様々な規定があり、その規則を満たすには時間がかかりましたが、地域の皆様と家主さんのご協力があり、平成6年4月に船越の地に始めて作業所を開設することができました。今日まで、知的障害・精神障害・肢体不自由合わせて市内6ヶ所に地域作業所を開設するに至りました。

行政においても障害者福祉は大切な事業ですが、「至誠天に通ず」をモットーに支援活動を生涯かけて行ってまいりたいと思います。思いつくままに文章を書かせていただきましたが、乱筆、乱文をお許しください。会員皆様のご健康とご活躍をお祈りいたしております。

(昭和47年第二経済学部経済学科卒業)

地産地消の推進についての報告

松岡 和行



平成19年4月に行われた統一地方選挙にて、皆様からのご支援を頂いて横須賀市議会議員になりました松岡和行です。1年生議員として、まだまだ勉強中ではありますが、地元横須賀に関わる地産地消について述べさせていただきます。

地元で生産された農水産物を地元で消費する地産地消は、市民にとっては、新鮮で安全・安心な地場の農水産物が味わえ、生産者にとっては、流通コストの削減や少量多品目生産による価格変動リスクの分散、規格外・低・未利用農産物の有効活用等のメリットがあり、消費者と生産者の「顔が見える、話ができる」関係をつくりま

す。本市は、有数の野菜の産地であり、沿岸漁業では県内一の漁獲高を誇る水産業の都市でもあります。しかしながら、農産物はキャベツ・大根・かぼちゃが生産量の8割を占め、大半が東京・横浜の大都市に流れ、市内での流通は約10%に過ぎません。また水産物もさば・いわしで約60%の漁獲高があり、魚価の高い他の水産物も含めて大半が他都市に行っています。市内流通は約16%で、農水産物としての市内流通は約12%にしかなくなってないのが現状です。

そこで、横須賀市はより多くの市民に美味しく、新鮮で安全・安心な地場産農水産物を味わってもらうため、「横須賀市地産地消アクションプラン」を策定しています。これは、私たち議員がかねてから経済部等に働きかけ、やっと本市が取り組みを開始したものであり、その中で、地場産農水産物を市民、来訪者へ提供できる「常設」の地産地消拠点の整備について検討し、地場産農水産物の消費拡大や地産地消推進イベントの拡充や農産物生産量、水産物漁獲量の増加などを目指した様々な施策を展開することとしています。

そのうちの一つの試みとして、今年3月28日土曜日に、本市相模湾側での初めての漁協による朝市が、横須賀市大楠漁協芦名荷捌き場で開催されました。当日は、

午前8時からの開始予定でしたが、多くの市民が押しかけて開始時間より少し早く始まりました。当日は、約200名の市民が訪れ、それぞれ今朝、定置網で水揚げされた鰯・鯖・鱈^{すずき}などを買求めていました。参加者からは、これから定期的開催してほしいなど要望が数多く寄せられ、同漁協では、毎月第4土曜日に開催する運びとなりました。そして第2回目として、6月27日開催され、定置網で水揚げされた魚介類のほか、アワビ・サザエなどの貝類も販売され、多くの市民が買求めていました。

また、対岸の長井町漁協でも6月21日土曜日に初めての朝市が開催され、約800名の市民が訪れ、大変賑わいました。やはり当日の朝、定置網で水揚げされたイナダ・鯖などが売られ、潜水部の漁師さんたちは、自ら漁獲したサザエを市場より安く販売し、またその場でサザエのつぼ焼きも売られ、多くの市民からは喜びの声が多く寄せられました。その他には、生しらすや、釜揚げしらす、高足蟹なども販売されました。

長井町漁協では、今後定期的に第2土曜日開催する運びになりました。三浦半島支部の皆様、是非、芦名と長井の朝市にお出かけください。損は無いと思います。よろしくお願いします。

(昭和54年法学部法律学科卒業)

事務局からのお知らせ

三浦半島支部新会員のご紹介

本年3月以降に支部会員になりました方々をご紹介します。今後ともよろしく願いいたします。

(敬称略)

- ◎ 市川 国男 (41年貿易・横須賀市上町)
- ◎ 霧田 俊秀 (44年応化・横須賀市船越町)
- ◎ 島崎 和久 (47年経済・横須賀市小川町)
- ◎ 石渡 卓 (51年貿易・横須賀市池上)
- ◎ 三縄 義和 (56年応化・横須賀市桜ヶ丘)

会費納入のお願いについて

年会費未納の方お振込をお願いいたします。
 郵便振替受入口座 00290-5-95815
 宮陵会三浦半島支部
 横浜銀行口座 久里浜支店
 普通貯金 1747984
 宮陵会(神奈川大学校友会)三浦半島支部
 会費は年間3千円。4年前納は1万円です。

支部年会費納入状況

(平成21年7月30日現在)

(敬称略)

〔平成22年3月まで納入者〕

- (鎌倉) 小永井 潔 飯田 秀男 篠田 拓郎
 川瀬 元夫 小澤 光 石井 和行
 若林 秀明 北野 紘一 古川 勝彦
 岩崎 英昭 山岸 一輔
- (逗子) 千葉 毅一 岸本 光瑞 松本 育雄
- (葉山) 中村 進 岩澤 正之 中川 六郎
 石渡 俊一 周藤 亜矢子
- (横須賀) 山内 元式 鈴木 昭利 森 茂
 島 久喜雄 八嶋 政臣 沖 丞
 萩原 孝 中山 廣男 南雲 忠男
 角谷 彰 石井 一男 石渡 敏夫
 落 勝廣 大倉 国光 菊池 武
 村田 龍也 結城 康雄 長谷川征勝
 浅山 正義 金井 昌孝 市川 国男
 熊澤 勝喜 寺脇 敏彦 早川 勝繁
 福島 康臣 清水 洋一 吉田 武男
 相原 充 砂川 正夫 森下 守久
 鈴木 稔 野村 晴男 田中 久夫
 嶋田 晃 塩塚 定雄 舟崎 学志
 青山 隆一 内藤 正久 鈴木 三郎
 鈴木 伸夫 清水 英樹 川口 好孝

次へ続く

〔平成22年3月まで納入者〕

- (横須賀) 星山 正範 新藤 優 鈴木 康介
 工藤 真也 島崎 和久
- (三浦) 原 柳作 石渡 大輔 石渡 大湖

〔平成23年3月まで納入者〕

- (鎌倉) 矢澤 基一 (逗子) 長澤 良成
- (横須賀) 鳥海 洋義 松岡 和行

〔平成24年3月まで納入者〕

- (鎌倉) 井口 淳 (逗子) 石渡 浩
- (葉山) 小池 邦夫 (横須賀) 塚田 尚
 奥野 晶洋 久保田宣彦 鈴木 和夫
 名取美佐男 箕輪 義夫 二井 美恵子
 堀越 昌樹

(三浦) 天白世里子

〔平成25年3月まで納入者〕

- (横須賀) 上原 章道 蛭子 英二 武井 利徳
 永野 茂 轟田 俊秀 植山 修治
 石渡 卓 三縄 義和

会費納入者 93名

～ 編集後記 ～

今年も、昨年に続く異常気象で、西日本各地で豪雨による甚大な被害が発生し、今月に、入ってもすっきりしない天候が続いております。

6月開催の支部総会では、前年度に引き続き会員の増強に取り組んでいくこと等が決議されました。会員にとって魅力ある支部にどう育てていくかが今後の課題となります。皆で知恵を出し合い取り組んでいきましょう。

本号会報でお知らせの通り、待望のホームページが完成し、一般公開される運びになりました。立ち上げに際しましては、支部役員の塩塚さんにご尽力いただき深く感謝しております。

宮陵会の地域支部の中では、歴史も浅く実績も無い当支部ですが、ホームページの開設は全国6番目。継続させるには、皆様の応援が不可欠です。情報提供等お願いいたします。(S)